

第34期議員



新体制の福井市議会、スタート!



議員研修会

講演「地方議会の役割と議会人が知っておきたい危機管理」
市町村アカデミー客員教授 大塚 康男 氏

5月

臨時会

正・副議長など各役職を選出

改選後、初めて開催される臨時会は5月26日招集され、正副議長の選挙を行った結果、議長に堀江廣海議員、副議長に石丸浜夫議員がそれぞれ当選しました。今臨時会では、各常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任、福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員の選任、この国広域事務組合議会議員の選挙、鯖江広域衛生施設組合議会議員の選挙、福井県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙、福井市農業委員会(選任委員)の推薦を行いました。また、監査委員の選任など、市長提出の議案2件、報告10件を審議した結果、議案はいずれも同意、報告は6件を承認、4件を受理し、同日閉会しました。

6月

定例会

平成27年度福井市一般会計補正予算を可決

6月定例会は6月23日から7月14日までの22日間の会期で開かれました。今定例会では、「平成27年度福井市一般会計補正予算をはじめ、「福井市グリーフイン記念館の設置及び管理に関する条例の制定について」など市長提出の議案8件、報告24件を審議した結果、議案はいずれも原案どおり可決、報告は1件を承認、23件を受理しました。請願、陳情については、今回提出された請願1件、陳情1件を審議した結果、いずれも継続審査とすることに決定しました。また、議員提出議案として、「福井市議会会議規則の一部改正について」を審議した結果、原案どおり可決しました。さらに、予算、県都の魅力創出対策、地域の活力創造対策の3つの特別委員会が設置されました。そのほか、市政に対する一般質問を24人の議員が行い、7月14日、予定した日程を全部終え閉会しました。

トピックス：新しい議会の構成……………P2

新しい
議会の構成

◆ 堀江 廣海 議長



堀江議長は市議当選3回で、この間、教育民生、経済企業委員長のほか、決算特別委員長などを歴任しました。

◆ 石丸 浜夫 副議長



石丸副議長は市議当選4回で、この間、総務、経済企業委員長のほか、予算、産業・観光対策特別委員長などを歴任しました。

【住所】
福井市鮎川町91-55

福井市議会委員会委員一覧

(敬称略)

委員会名	委員名		
常任委員会	総務	◎伊藤 洋一 皆川 信正 鈴木 正樹 八田 一以	○中村 綾菜 石丸 浜夫 片矢 修一 瀧波 滋
	建設	◎後藤 裕幸 吉田 琴一 島川 由美子 谷本 忠士	○村田 耕一 今村 辰和 奥島 光晴 水島 秀晃
	教育民生	◎玉村 正人 加藤 貞信 堀江 廣海 福野 大輔	○下畑 健二 野嶋 祐記 池上 優徳 近藤 實
	経済企業	◎田中 義乃 西村 公子 堀川 秀樹 泉 和弥	○藤田 諭 見谷 喜代三 青木 幹雄 菅生 敬一
議会運営委員会	◎皆川 信正 堀川 秀樹 野嶋 祐記 下畑 健二 田中 義乃	○伊藤 洋一 青木 幹雄 今村 辰和 片矢 修一 後藤 裕幸	
特別委員会	◎奥島 光晴 西村 公子 青木 幹雄 下畑 健二 田中 義乃 水島 秀晃 瀧波 滋 近藤 實	○片矢 修一 堀川 秀樹 今村 辰和 中村 綾菜 藤田 諭 八田 一以 福野 大輔	

委員会名	委員名		
特別委員会	県都の魅力創出対策	◎野嶋 祐記 堀川 秀樹 下畑 健二 中村 綾菜 藤田 諭 菅生 敬一	○玉村 正人 鈴木 正樹 谷本 忠士 田中 義乃 瀧波 滋 福野 大輔
	調査事項	① 公共交通の整備促進 ② 福井駅周辺整備 ③ 中心市街地の魅力向上	
特別委員会	地域の活力創造対策	◎今村 辰和 西村 公子 吉田 琴一 片矢 修一 水島 秀晃 池上 優徳	○島川 由美子 加藤 貞信 泉 和弥 村田 耕一 八田 一以 近藤 實
	調査事項	① 観光地の磨き上げ ② 企業誘致 ③ 地域産業の振興 ④ 農林水産業の振興、再生 ⑤ 有害鳥獣対策	

◎委員長 ○副委員長

議会選出の各役職一覧

(敬称略)

監査委員	泉 和弥	後藤 裕幸	堀江 廣海	中村 綾菜
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	見谷喜代三 伊藤 洋一	石丸 浜夫		
こしの国広域事務組合議会議員	堀川 秀樹	青木 幹雄	今村 辰和	
鯖江広域衛生施設組合議会議員	石丸 浜夫	奥島 光晴	片矢 修一	
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	野嶋 祐記	堀江 廣海	泉 和弥	
農業委員会委員	谷本 忠士	藤田 諭		
土地開発公社理事	石丸 浜夫 近藤 實	堀江 廣海	田中 義乃	村田 耕一
都市計画審議会委員	加藤 貞信	福野 大輔		
民生委員推薦会委員	八田 一以			
青少年問題協議会委員	皆川 信正			
少年愛護センター運営委員会委員	鈴木 正樹	島川由美子		
社会教育委員	吉田 琴一	水島 秀晃	菅生 敬一	
通学区域審議会委員	西村 公子	下畑 健二	池上 優徳	
学校給食運営委員会委員	玉村 正人	田中 義乃	瀧波 滋	
福井市総合計画審議会委員	加藤 貞信	見谷喜代三	堀川 秀樹	下畑 健二

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11頁に掲載しています。

平成27年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で4億3,329万9,000円を増額するもので、補正後の予算額は、1,127億8,729万9,000円となります。

また、補正後の全会計の予算額は2,179億9,029万9,000円となります。

○一般会計補正予算

西口再開発ビル側から中央1丁目の商業集積エリアまでを誘導する導線の確保や、まちなかの回遊性の向上を図るため、歩行者専用道路を整備するまちなか回遊整備事業や、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の施行に伴い、すべての市民に個人番号が記載された通知カードを発送し、また希望者に対して個人番号カードを交付する個人番号カード交付事業、身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度難聴児の聴こえの確保と言語の発達による自立を支援するため、補

聴器購入費用の一部を支援する軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業などに4億3,329万9,000円を計上するものです。

条例

○福井市グリフィス記念館の設置及び管理に関する条例の制定について

福井藩のお雇い外国人教師であつたウィリアム・エリオット・グリフィスの功績を中心に郷土の歴史等を学ぶ場を提供するとともに、まちなか散策の拠点としてにぎわいを創出することを目的に、福井市グリフィス記念館を設置及び管理するため、条例を制定するものです。

人事案件

監査委員

監査委員の欠員を補充するため、泉和弥氏と後藤裕幸氏を選任することに同意しました。

委員会審査

各常任委員会の委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介いたします。（日程順に記載）

総務委員会

《消防救急デジタル無線装置》

無線装置をデジタル化することのメリットは何か。

デジタル化により、他人が傍受できなくなり、通信の秘匿性が向上することや、チャンネル数の増加、音声鮮明になる等の利点がある。

建設委員会

《中央公園整備工事》

総合評価方式による入札の参加業者数は何社か、また、落札業者と次点業者の評価点数の差はどれくらいだったのか。

入札参加業者数は10社で、点数差は僅差であった。

経済企業委員会

《中心市街地のまちづくり》

現在、県外大手企業から中心市街地に進出したいという話はないのか。また今後、中心市街地のまちづくりを進めるにあたり、県外資本の誘致なども考えていくのか。それとも、地元の出店者の芽を伸ばしていくという姿勢なのか。

現在、県外大手企業が進出するという話はない。最近では若者を中心に地元の方が

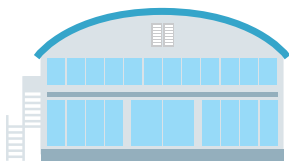
教育民生委員会

《市体育館サブアリーナ新築工事》

工期が1年間の予定であるにもかかわらず、半年で資材や労務単価等の上昇分を反映させて請負金額の変更をするとのことだが、工事請負業者は1年後に単価がどうなるかを予測して契約しているのではありませんか。

労務単価等を予想して設計額を決めることは非常に難しく、将来の単価を見越して設計することは不可能である。

やる気になって活性化に取り組んでおり、まちが動き始めていると実感している。本市としては、全国どの都市にもあるような県外資本によるまちづくりではなく、現在の動きを強めていき、福井の独自の文化を感じさせるような空間を作ることが福井のまちの魅力につながっていくと考えている。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、6月29日から7月1日までの3日間、24人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 青木 幹雄 (志政会)</p> <p>1 特色あるまちづくりについて 2 道路行政について</p>	<p>② 見谷 喜代三 (一真会)</p> <p>1 本市の企業誘致と土地利用計画について 2 市長の市政運営に対する自己採点と今後の政治姿勢について</p>	<p>③ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 総合戦略の対応について 2 投票率の向上と選挙制度の見直しについて 3 避難所受け入れ態勢について 4 空き家対策特別措置法の運用について</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 ふるさと納税について 2 福井市版総合戦略の策定について 3 生活困窮者自立支援制度について 4 放課後子ども総合プランについて</p>	<p>⑤ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 国民健康保険とその広域化について 2 安保法制「戦争法案」について 3 二元代表制の重要性和福井市議会の実態について</p>	<p>⑥ 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 公共交通・まちづくりについて 2 ふるさと納税について 3 空き家対策について</p>
<p>⑦ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 投票率向上の取り組みについて 2 マイナンバー制度について 3 地域包括ケアシステムについて 4 子どもの貧困対策について</p>	<p>⑧ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 足羽地区の冠水・浸水対策について 2 中心市街地のにぎわいについて 3 新幹線時代の観光誘客について</p>	<p>⑨ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 地方創生と福井市の戦略について 2 県都デザイン戦略の推進事業について</p>
<p>⑩ 池上 優徳 (福井伝統と創造の会)</p> <p>1 「正しい日本地図」について 2 養殖漁業について 3 観光地の磨き上げについて</p>	<p>⑪ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 人口減少社会を迎えるための本市の課題と対応について 2 観光政策について</p>	<p>⑫ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 いじめ防止と自己肯定感の関連性及び自己肯定感の高め方について 2 地域医療の現状と課題及びその対策について 3 福井市プレミアム商品券について</p>
<p>⑬ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 北陸新幹線について 2 地方創生の推進と取り組みについて</p>	<p>⑭ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 新たな収入の確保に向けた取り組みについて 2 福井市の観光について</p>	<p>⑮ 近藤 實 (志政会)</p> <p>1 少子化対策について 2 北陸新幹線福井開業までの総合的取り組みについて</p>
<p>⑯ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業について 2 福井市役所正面入口から中庭駐車場にかけての考えられない混雑による不具合について 3 来春オープン予定の西口再開発ビル「ハピリン」について</p>	<p>⑰ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 社会保障・税番号制度 (マイナンバー制度) の問題点と運用について 2 障がい者の生活と権利を守る施策について 3 小中一貫校の制度化について 4 福井市下水道雨水対策基本計画について</p>	<p>⑱ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 低炭素社会の実現と再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みについて 2 認知症対策の取り組みについて 3 本市の認定子ども園移行等の取り組みについて</p>
<p>⑲ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 福井市下水道雨水対策基本計画について 2 市内の道路の渋滞解消について 3 足羽三山について</p>	<p>⑳ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 児童クラブの拡充について 2 ふるさと納税について 3 「まちなかスカイテラス」の活用について 4 福井駅「恐竜広場」の演出について</p>	<p>㉑ 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 合併後10年を迎える地域への対応について 2 職員適正化から見える合併地域への対応について</p>
<p>㉒ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 投票率向上のための施策について 2 米飯給食の推進について</p>	<p>㉓ 玉村 正人 (市民クラブ)</p> <p>1 教職員の多忙化解消対策について 2 中央公園周辺再整備事業について 3 福井市における空き家対策について</p>	<p>㉔ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 医療費などの助成について 2 福祉タクシー制度について 3 歩道のバリアフリー化について 4 今後の観光戦略について</p>

回答

女性が働きやすく、安心して子供を育てられる環境をつくるため、一時預かりや病児病後児保育などを進めている。また、地域活動やボランティア活動に一生懸命取り組む方など、様々な分野で輝いている女性を市政広報に掲載するなどの取り組みも行っており、女性に対する感謝の気持ちを育むことにもつながっていきたい。

質問

本市では結婚、出産後も働く女性が多いことから、男女共同参画への取り組みを進めると同時に、女性が働きながら子供を生み育てることへの支援や、地域社会全体で女性に対する感謝の行動を喚起することが行政の役割であり、地方創生の大きなテーマと考えるが、市の見解は。

働く女性への支援について



あおき みきお

青木 幹雄 議員

志政会

一般質問要旨

企業誘致について



みたに きよぞう

見谷 喜代三 議員

一真会

質問

企業誘致を進めるためには、市街化区域と市街化調整区域のそれぞれにおいて収容すべき企業の業種、業態や、将来の土地需要を示すことが必要ではないか。また、産業の受け皿づくりの方策として、国家戦略特区を活用する考えはないのか。

回答

収容すべき業種、業態や将来の土地需要は、企業へのアンケート等を行い、産業誘導地区の設定を進めていくが、その際には、市街化区域は大規模な用地が確保しにくく、住宅と工場が混在する工業系用途地域がみられることから、市街化調整区域への立地を視野に検討したい。また、国家戦略特区については、今年度中の提案に向けて、現在調査・研究を行っている。

総合戦略について



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

質問

本市の総合戦略はいつ頃までに策定するのか。また、策定に当たって、県との調整や第七次福井市総合計画との整合性はどのように考えているのか。

回答

具体的な施策を含めた総合戦略の概略については、10月頃をめどに作成し、その後、最終案として調整を行い公表していきたい。また、本市の施策のみで人口減少を克服することは困難であるため、策定に当たっては、国の戦略などを注視するほか、県の戦略と十分に連携することが必要だと考えている。福井市総合計画が本市の最上位計画であることにに対し、総合戦略は具体的な施策レベルまで定めるものであるが、相互に連携し、内容を反映させていきたい。

都市圏高齢者の移住について



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

質問

国が発表した、東京圏から元気な高齢者の地方移住を推進していく「日本版CCRC構想」において、本市はその対象地域の1つに名前が上っているが、市長の見解は。また、この構想を総合戦略に反映させる考えはあるのか。

回答

「日本版CCRC構想」は、高齢者が健康時から希望して地方に移り住み、地域社会の一員としてアクティブに生活するとともに、医療・介護が必要な時には継続的にケアを受けられる地域づくりを目指すもので、地域の消費活動を喚起する効果や医療・介護の雇用創出がある一方、高齢化により社会保障費の増加も懸念されることから、総合戦略への反映も含め慎重にならなければならぬと考えている。

安保法制「戦争法案」について



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

質問

安倍内閣が国会に提出した安保法制は、日本が攻撃されなくとも、自衛隊を世界中に派遣し、殺し殺される、戦争法案そのものである。与党推薦の憲法学者ですら「違憲である」と発言し、反対集会が全国各地で開かれている。市長は安保法制に反対すべきではないか。

回答

この法案に関しては、各界各層でさまざまな意見があるが、わが国の安全保障、国民の生命や財産に関わるどころであり、国会の会期が大幅に延長されたことから、政府は国民に対して丁寧な説明を行うと同時に、国会における慎重かつ徹底的な審議が尽くされ、判断されるものと考えている。

危険な空き家対策について



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

質問

国は今般、行政が強制的に空き家を撤去できる内容を含む空き家対策特別措置法を施行した。空き家に悩む市民の期待は大きく高まっているが、市はどう対応していくのか。

回答

本市では「空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、管理不全状態の空き家について、助言、指導等の行政措置を実施してきた。本年施行された空き家対策特別措置法では、立入調査や情報報利用などの権限が増えることから、より円滑に所有者の特定が進み、助言、指導、勧告、命令といった行政措置をすみやかに行うことができると考えている。



しまかわ ゆみこ

島川 由美子 議員

公明党

マイナンバー制度について

質問

マイナンバー制度の実施に伴い、高齢者等を狙った詐欺などの発生が考えられるが、被害防止の対策が必要ではないか。

また、サイバー攻撃による個人情報流出防止へ向けた、情報セキュリティの専門的知識を持つ技術者の育成・確保の取り組みは。

回答

高齢者を狙った詐欺への対策として、今年度、固定電話に接続する通話録音装置の貸し出し事業を行うこととした。

先進都市の事例を見ると非常に効果的であり、マイナンバー制度実施後の被害防止にも役立てたいと考えている。

また、専門的な知識を持つ技術者の育成のため、外部機関の専門研修によるスキルアップを図っている。



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

一真会

足羽地区の冠水・浸水対策について

質問

足羽地区の冠水・浸水対策として加茂河原ポンプ場の増強改築工事を計画しているとのことだが、その完成はいつになるのか。また、完成までの対策を急ぐべきではないか。

回答

加茂河原ポンプ場の改築工事は、来年度に着工し平成31年度の完成を予定しているが、ポンプ場改築予定地の地権者の一人が事業認可の取り消しを求めて提訴しており、直ちに着工できない状況にある。

この地区の浸水対策には、ポンプ場の改築更新に合わせた雨水ポンプの排水能力の増強と、浸水地区とポンプ場を直接結ぶバイパス管整備が効果的であると考えている。

今後は足羽地区の一日も早い浸水被害軽減を目指し、早期着工に努める。



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

地方版総合戦略について

質問

福井市が人口減少対策として策定を進めている地方版総合戦略の中で、最も重要な施策は経済・産業の成長のための施策である。喫緊の課題としては、地方創生特区制度を活用し、福井・福井北の両インターチェンジ付近の開発を開始すべきと考えるが、市の見解は。

回答

本市では、今年度、市長をトップとする企業立地推進会議を設置し、産業用地の確保等について協議している。その中で、高速道路インターチェンジ周辺は厳しい土地利用規制があることから、産業用地として活用するためには規制緩和を進めることが課題である。地方創生特区制度の活用は、規制緩和を進める有力な手段であり、この手続きを通して規制を緩和したいと考えている。



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

福井 伝統と創造の会

正しい日本地図について

質問

国際社会を生き抜くために、日本領土の位置や領域を正確に把握し、領有権問題についての日本の主張への理解を深めるため、正しい日本地図を市内小・中学校の全教室に配布、掲示し、領土教育の充実を図るべきと考えるが、日本地図が掲示してある教室の割合と市の見解は。

回答

本市の小・中学校の各教室における日本地図の掲示は、約半数の教室で行われている。

また、国際社会を生きる子供たちが、日本の領土・領域について正しく理解することは重要であり、今後も各学校への周知及び教室等への掲示を推進していく。



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

観光政策について

質問

観光による交流人口の拡大は重要であり、市長は海外誘客のために7月に台湾にトップセールスを実施することなどが、どのくらいの効果を見込んでいるのか。

また、外国人観光客へのおもてなし向上のため、サインや言語の問題、公衆無線LAN等のインフラ整備の状況は。

回答

台湾の旅行会社等への訪問や観光プレゼンテーション等によるトップセールスを実施し、少しでも多くの旅行商品の開発につなげていきたい。

また、現在の日本語と英語の公共サインに、中国語と韓国語の表記を加えるとともに、観光案内所には英語を話す案内員を配置する。さらに無料公衆無線LANを福井駅西口交通広場等に整備する予定である。



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

志政会

いじめ防止と自己肯定感の
関連性と自己肯定感の高め
方について

質 問

子供の自己肯定感を高めていくことで、子供は主体的に物事に取り組んでいくようになり、どんな困難にも自分の力で立ち向かっていく力、生きる力が養われていくと考えるが、本市の取り組み状況と見解は。

回 答

いじめの未然防止に子供の自己肯定感を高めることは大事であると考えており、異学年交流や異校種間交流の実施、地域のボランティア活動や行事への参加を通して、満足感や達成感を感じることで自己肯定感が一層高められ、子供たちがお互いに認め合い、支え合ういじめのない学校につながっていくと考えている。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

北陸新幹線について

質 問

北陸新幹線福井先行開業については、現在与党PTで議論されており、8月には結論が出されるとのことだが、福井先行開業による経済効果などのように考えているのか。

また、福井先行開業が可能になった場合、市として最も優先すべき課題は何か。

回 答

北陸新幹線敦賀開業による経済効果については、平成24年11月の北陸経済連合会の調査で、北陸全体で約800億円と試算されており、福井先行開業となればその経済効果がより早く現れると考えている。

また、福井先行開業が可能になった場合の市の最優先の課題は、福井駅以北の市街地における用地取得を早急に完了することと考えている。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

一真会

観光戦略について

質 問

新観光ビジョンの策定にあたり、今後の福井国体、北陸新幹線福井開業に向けて、福井市を戦略的に効果的にPRしていくためには、部局を横断したシテイプロモーション部局の設置が必要だと考えるが、市はどのように取り組むのか。

回 答

北陸新幹線金沢開業は、本市としても交流人口増加の大きなチャンスであると認識しており、福井市宣伝隊長「朝倉ゆめまる」や採用4年目の市職員から選抜した「福井観光もてなし隊」による出向宣伝や大手百貨店での観光物産展への出展など、首都圏を中心とした観光PR活動を全庁的に行っている。今後も、市長の陣頭指揮のもとで各部局が綿密に連携し、部局を横断したシテイプロモーション活動を戦略的に展開していきたい。



こんどう みのもる

近藤 實 議員

志政会

少子化対策について

質 問

中高生や大学生等、子供たちに、結婚が大切なこと、幸せなことだと教えることが重要と考える。そのため、中学生向けの家庭科教科書または副読本を作成してはどうか。

また、若い人たちを正社員として雇用することを市長から企業経営者に強いメッセージを発してほしいが、どう考えているのか。

回 答

教科書は、国の学習指導要領に並び、文部科学大臣の検定や教育委員会の採択を経て、また、副読本は、学習指導要領の趣旨を踏まえて、それぞれ作成されるものであるため、どちらも市が作成・発行することは困難だと考えている。

また、若者の正規雇用については、若者の経済的安定が図られるよう経営者が集まる会議等で協力を要請していく。



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

西口再開発ビル「ハピリン」について

質 問

西口再開発ビル「ハピリン」のオープン日が来年のゴールデンウィーク前では、約39万人の集客があり、約1万6,000人の県外宿泊客があるふくい春まつりや越前時代行列、また、県外から2,000人のエントリーがある福井駅前マラソンの経済効果を生かせない。補正予算を組んでもオープン時期を前倒しすべきだと思うが、市の考えは。

回 答

県都の顔となる西口再開発ビル「ハピリン」のオープンニングイベントについては、ふくい春まつりと開催時期が重なるよりも、分散化したほうがにぎわいづくりには効果が高いと考えており、春まつりに来られた方に積極的にオープンをPRすることで、誘客にもつながると考えている。



にしむら きみこ

西村 公子 議員

日本共産党議員団

リスクの大きいマイナンバー
制度の問題点について

質 問

年金情報が大量に流出し市民の不安が高まっているが、必ずしもマイナンバーカードを取得しなくても国保や年金等の手続きは可能ではないか。また、カードを取得しなくても手続きできることや方法について、10月からの番号通知の際に周知すべきではないか。

回 答

個人番号カードを取得しない場合には、国民健康保険への加入手続きなどの際に、通知カードに加えて、本人確認のために運転免許証やパスポートなど1つを提示しなければならぬことを広報する必要があると考えている。

また、市民には制度の概要、目的、メリット等を明らかにしていく。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

公立認定こども園と従来の
保育園及び幼稚園との違い
について

質 問

認定こども園では保育が必要な子ども以外の子どもを受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えているが、従来の保育園及び幼稚園との違いは。

回 答

園児の1日の生活は、1号認定、いわゆる従来の幼稚園児及び2号認定、いわゆる従来の保育園児ともこれまでと変わらない。保育料やその他の経費もこれまでと大きく変わることはない。

教育・保育は幼稚園教育要領及び保育所保育指針の両方の良さを活かした幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき作成したカリキュラムにより行っていく。



たきなみ しげる

瀧波 滋 議員

志政会

八幡山で発生したがけ崩れの
対応について

質 問

昨年12月と今年1月に八幡山で発生したがけ崩れの現場は、現在ブルーシートで覆う処置がされているが、それだけの対応では近隣住民の不安は解消されない。今後の対処と予防の対策は。

回 答

現在は、現場を所管している県が倒木の恐れのある木の伐採や、被災箇所をブルーシートで養生するなどの応急対策を実施しており、更なる応急対策は今年度の秋ごろに実施すると聞いている。その後の恒久的な法面对策工事についても早期に着手できるように県に働きかけていく。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

福井駅「恐竜広場」の演出
について

質 問

福井駅西口にある恐竜のモニュメントは福井駅に降り立つ観光客をもてなし、集客力、話題性がともあることから、このままこの場所に設置することを強く要望するが、今後の方向性は。

回 答

恐竜の造形物の設置については、西口駅前広場の計画にはなく、現在は県の依頼により設置されている。JRの北陸ステーションシヨンキャンペーン終了後は、西口駅前広場の歩道として工事するため撤去する。その後の再設置場所については、福井県が検討中である。本市としては、県の検討状況や市民の皆様の意見を幅広く把握しながら対応を考えていきたい。



ふじた さとし

藤田 諭 議員

志政会

合併10年を迎える地域の対
応について

質 問

合併10年を迎えるにあたり、合併3地区の総合支所の機能、組織体制のあり方についてどのように考えているのか。また、どのような方法とスケジュールで進めるのか。

回 答

合併10年となる平成28年にあり方を見直すこととしており、本年2月に各地域審議会において様々な意見や要望を聞いたところである。この内容を踏まえ、見直し案の検討を進め、合併地区の高齢化の現状や本庁までの距離を考慮し、できるだけ現在のサービスマンが維持できるように調整を図っていく。

スケジュールについては8月の各地域審議会をめぐりに見直し案を作成し、改めて地域の意見を聞きながら丁寧な説明を行い、進めていく。

投票率の低下について



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

質問

本市において、シヨッピン
グセンターや大学等に期日前
投票所を設置するよう検討し
てみるべきであると考えますが、
本市の見解は。また、導入す
る場合の課題は。

回答

期日前投票所の設置にあつ
つては不正防止や投票の秘密
を守るための専用回線による
オンラインシステムの整備や
期間中投票会場を確保する必
要がある。大学については、
一般の市民の方も投票できる
ことから、校内に学生以外の
方が出入りすることになり、
大学の了解が必要である。ま
た、大型シヨッピングセンタ
ーについては、更にホールや
催事場を一定期間占有するこ
とになる。このような課題は
あるが、他市の事例を参考と
して今後研究していきたい。

管理不全空き家の解消対策
について



たまむら まさと
玉村 正人 議員
市民クラブ

質問

所有者が特定できない市内
の空き家の数は。また、所有
者が特定できない管理不全空
き家の代行措置が速やかに取
れるよう対応を急ぐべきであ
るがその対策は。

回答

福井市空き家等の適正管理
に関する条例施行後から現在
までに管理不全状態のものは
112件あった。
自然現象により建築材が飛
散するおそれのある空き家や、
市民の生命、身体、財産に害
を及ぼすおそれのある空き家
に対し、所有者等の連絡先が
把握できないこと、費用が小
額であること及び措置の結果
形状を著しく変形させない場
合に代行措置が取れるとされ
ており、法令に違反しない範
囲で個別に判断し、対応して
いく。

歩道のバリアフリー化につ
いて



すこう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

質問

3年後に福井国体及び障害
者スポーツ大会を控えている
が、市内の歩道の整備が遅れ
ている。段差、路面の波打ち、
雑草の繁茂など、安全面、景
観面からも整備を急ぐ必要が
あると考えるが、国体開催に
向けての整備計画は。

回答

平成30年度の国体開催まで
に、開会式、閉会式の会場で
ある福井運動公園周辺道路の
バリアフリー化を、県と連携
しながら進める。歩道の波打
ちや水溜り、根上りの解消に
ついては、部分的な補修を随
時行う。今後も、年齢や障が
いの有無に関係なく全ての道
路利用者が、快適で安心して
利用できる環境を確保するた
め、歩道の段差解消や視線誘
導ブロック設置など、バリア
フリー化の整備を計画的に進
める。

志政会

青木 幹雄 藤田 諭
水島 秀晃 瀧波 滋
近藤 實

人口減少

まち・ひと・しごと創生
という言葉が使われてい
る中、人口減少を踏まえて、国
はどのようなことを考えてい
るのか。それを受けて本市はど
のように進めようとしているのか。

Answer

国の総合戦略では、安定
した雇用を創出していく、
新しい人の流れをつくる、結婚
出産、子育てといった希望をか
なえる、時代にあったまちを作
っていくといった4つの大きな
視点が示されている。

本市としても、この基本的な
考え方に福井県の特徴である勤
勉な県民性や就労環境、住みよ
さといった強み、また今後の北
陸新幹線の金沢―敦賀間開業や
福井国体といった将来を見据え
た新たな視点も取り入れながら

予算特別委員会

各党派における主
な質疑内容を紹介
します。

実効性のある施策を検討してい
る。

森林資源の有効活用

本市独自の木質バイオマ
ス発電の利用について
市の考えは。

Answer

木質バイオマス発電は、
地球温暖化防止に向けた
取り組みや環境面から注目さ
れている。本市は木質バイオマ
ス発電ではないが、民間事業者
から温泉施設への熱エネルギー
利用の提案を受け、その事業
化の実現に向けて国の補助制
度の利用を含めて検討している。



一真会	
今村 辰和	奥島 光晴
田中 義乃	八田 一以
福野 大輔	

●イノシシ等の食肉加工処理場

問 現在、市西部の殿下地区に処理場が1箇所あるが、東部にも建設への強い要望がある。市としてどのような見解を持っているのか。

答 殿下地区の処理場の処理能力にはまだ余力があると聞いており、その処理能力が限界になったときに検討していきたい。

●JR福井駅西口の現在の観光案内所

問 現在の観光案内所はなく、なると聞いているが、今後、観光コンシェルジュ業務にどのように取り組んでいくのか。

答 駅のココース内に設置している観光案内所は今年度限りであり、来年度からは春に完成予定の屋根付き広場に設置する観光案内所に、通常の観光案内や観光ガイドへの橋渡しなど、現在行っている観光コンシェルジュ業務を引き継いでいく。

市民クラブ	
堀川 秀樹	中村 綾菜
片矢 修一	

●由利公正を主人公としたNHK大河ドラマ実現に向けた戦略

問 平成30年は、明治維新から150年目を迎える年であり、本県では福井国体を開催し、県都デザイン戦略において中央公園や山里口御門などの整備完了を目指す年であることから、維新後初の東京府知事である由利公正の生きざまを描く大河ドラマ誘致に取り組む考えはないか。

答 福井国体では、多くの方が本市を訪れることとなるため、そのタイミングでテレビドラマ等を誘致することは、史跡整備ともあいまって、本市の魅力発信と観光誘客に大きな効果があると考えている。取り上げる人物としては、選択肢の一つだと考えている。

●こどもの病気への支援

問 精神科の病気で長期入院している方々は、住むところや在宅支援、訪問看護があれば、地域での生活が可能とも言われているが、本市は今後どのような支援を進めていくのか。

住むところについては、グループホームのサービスがある。また、退院後、在宅での生活を維持するために家事援助を行うホームヘルプサービス、日中活動を充実させるために就労系サービスや地域活動支援センターにおける活動や交流の場が提供されている。今後とも県や関係機関と協議しながら、一人ひとりの状況やニーズに合わせたサービスの充実に努めたい。

答 住むところについては、グループホームのサービスがある。また、退院後、在宅での生活を維持するために家事援助を行うホームヘルプサービス、日中活動を充実させるために就労系サービスや地域活動支援センターにおける活動や交流の場が提供されている。今後とも県や関係機関と協議しながら、一人ひとりの状況やニーズに合わせたサービスの充実に努めたい。

●汚水処理施設の普及促進

問 平成32年度内に人口普及率を100%にするという目標は達成できるのか。

答 昨年度の国の補助の見直しにより末端管路の整備が補助対象外となったため、市の負担が増大することによる進捗の遅れを懸念している。今後は建設コストの縮減や施工方法の工夫により市の負担を軽減し、人口普及率100%の早期達成に向けて努力していきたい。

公明党	下畑 健一
-----	-------

●ごみの減量化と処理

問 ごみの中に古紙をはじめ多くの資源物が混入して

いることが大きな課題であるが、分別についてどのような取り組みを行っているのか。

答 古紙の分別については福井市古紙等リサイクル協同組合と連携して、6月からコピー用紙等の「雑紙」についても集団資源回収に出せるようにした。また、使用済小型家電の回収場所についてはこれまでの6カ所の公共施設に加え、7月からは新たに市内3カ所のスーパーマーケットに回収ボックスを増設した。

日本共産党議員団	西村 公子
----------	-------

●子どもの貧困対策

問 他の自治体で取り組みが広まっている学校給食費の無償化について、実施に向けた検討する考えはないのか。

答 学校給食法の中で食材購入については保護者負担と規定されており、本市もこの規程に基づいて学校給食費を負担していただいている。生活困窮者に対しては、生活保護や就学援助制度によって学校給食費を支援しており、無償化は考えていない。

議案等の審議結果 (5月臨時会)				
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第43号議案	監査委員の選任について	5月26日	同意	
第44号議案	監査委員の選任について	〃	〃	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて (福井市市税賦課徴収条例等の一部改正)	〃	承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて (福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	〃	〃	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて (生活保護費徴収決定に基づく費用等の支払請求に係る訴えの提起について)	〃	〃	
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	
第5号報告	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度福井市宅地造成特別会計補正予算)	〃	〃	

議会日誌 (平成27年4～6月)

4月 7日	北信越市議会議長会評議員会 // 第90回定期総会 (長岡市)
5月 7日	初会合
15日	各派代表者会議
27日	北陸新幹線建設促進大会 平成27年度北陸新幹線建設促進同盟会総会 (東京都)
6月10日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会 (福井市)
15日	議員全員協議会、議会運営委員会
16日	全国市議会議長会第203回部会長会議 // 第199回理事会
17日	// 第91回定期総会

5月臨時会

5月26日	各派代表者会議、議員全員協議会、本会議、議会運営委員会
-------	-----------------------------

6月定例会

6月23日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
24日	議会運営委員会
29日	本会議 (一般質問)
30日	本会議 (一般質問)
7月 1日	本会議 (一般質問)
2日	総務委員会、建設委員会
3日	教育民生委員会、経済企業委員会
8日	予算特別委員会
9日	予算特別委員会
10日	議会運営委員会
14日	本会議

編集後記

4月の統一地方選挙からはや4ヶ月、新人議員7名を含め新しい議会体制がスタートいたしました。

今回の市議会議員選挙の投票率は48.70%と大変厳しい数字となりました。この数字を重く受け止め、今後、市民の皆様と市議会との距離を少しでも縮めていけるよう努めてまいります。

「ふくい市議会だより」は市民の皆様へ、議会を知っていただく1番のツールです。分りやすく、読みやすい議会広報紙づくりに今後も取り組んでまいります。(藤田、水島)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

インターネット
中継を実施
しています

中継する会議

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、

より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、

YouTube (ユーチューブ) のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

次回は
9月定例会
です。

日程は
ホームページで
掲載中です

傍聴して
みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

(席数：91席 車イス用：6席)

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・県都の魅力創出対策・地域の活力創造対策

議員全員協議会



お問い合わせ

☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課